



ち
さん
ち
しょう
地参地笑のすすめ

第2回

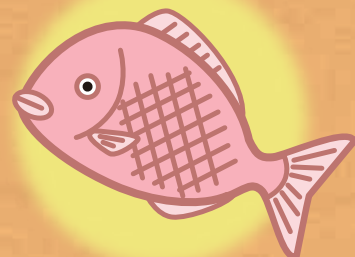
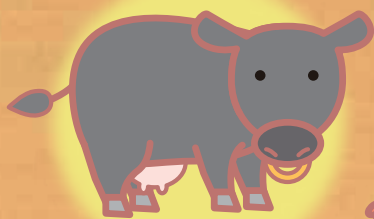
全国サミット 町内・集落福祉

IN
淡路

日本の地方、特に中山間地域・離島などのほとんどは、急速な人口減少・少子高齢化に直面し、その存続すら危ぶまれています。そのようななか、支え合う地域コミュニティを、住民と事業者・社協・行政などが連携し、「協働」による地域づくりの実践が生まれています。

産業は産業、福祉は福祉といった縦割りではなく、地域を総合的に支えよう、変えていこうとした取り組みは、これからの地方の、そして高齢化がすすむ都市のあり方を考えるうえで、多くのヒントを与えてくれます。

このサミットは、全国の先進的な取り組みに学ぶとともに、淡路島の魅力を探り、全国に発信することを目的に開催いたします。



開催日：2014年2月15日(土)・16日(日)

会場：しづかホール 全体会、分科会、関西総合リハビリテーション専門学校 分科会、交流会

■主催／第2回町内・集落福祉全国サミット in 淡路実行委員会 ■共催／淡路市、淡路市社会福祉協議会 ■主管／全国コミュニティライフサポートセンター

■協力／兵庫県社会福祉協議会、洲本市社会福祉協議会、南あわじ市社会福祉協議会、淡路島観光協会、淡路市連合町内会、淡路市民生委員児童委員連合会、淡路市ボランティア連絡会、淡路市商工会

兵庫県内で展開中の

「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーン協賛事業



第2回

全国サミット
町内・集落福祉

IN
淡路

2月15日 土 日の日程



▶ 11:00～12:00 受 付 (屋外で作業所等のバザー・軽食)

▶ 12:00～12:20

開会セレモニー

実行委員長あいさつ

市長歓迎あいさつ

▶ 12:20～12:50 基調講演

「住みよい地域づくりを目指して、今地域にできること」
—町内・集落福祉から地域マネジメントへ—

島根大学 教育学部 准教授 作野 広和

▶ 12:50～13:20 淡路の地域福祉活動紹介

いきいき100歳体操の実践(淡路市)

淡路市社協の実践

洲本市社協の実践

南あわじ市社協の実践

▶ 13:20～13:35 休 憩

▶ 13:35～15:05 シンポジウム

“集落福祉” 国生みの島から未来へ・・・

▶ 15:05～15:15 全体会閉会

▶ 15:15～15:45 休憩・移動

▶ 15:45～17:40 分科会 1～5

▶ 18:10～20:00 交流会(関西総合リハビリテーション専門学校・食堂)



シンポジウム

2月15日(土) 13:35～15:05

“集落福祉” 国生みの島から未来へ...

● パネラー

長沢コミバス運行委員会 仲野 孝夫
ホットほっと 代表 松田 久美子
プレイパーク・淡路島冒険の森 森番 小南 廣之

● コメンテーター

淡路市 (調整中)
淡路市社会福祉協議会 会長 長江 良彰

● サポーター

消費者庁 次長 山崎 史郎
総務省 自治行政局 地域自立応援課 課長補佐 櫻井 泰典
厚生労働省 社会・援護局 総務課 課長補佐 佐藤 博
農林水産省 食料産業局 食品小売サービス課 室長 山口 靖
外食産業室

● コーディネーター

神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 教授 藤井 博志

■ 長沢コミバス運行委員会

約100世帯の集落全世帯が年間1万円を支払い、高齢者の足であるコミュニティバスを運営する。また、都市間交流や1ターンにも積極的に取り組んでいる。

■ ホットほっと

集落内の住民を対象に、会食会やサロン活動を開催し見守り、軽易な生活支援を行う。また、自治会・民生委員協議会とも連携し、避難訓練などにも関わっている。

■ プレイパーク・淡路島冒険の森

「自分の責任で自由に遊ぶ」自然いっぱいの冒険遊び場。子どもも大人も女も男も障がいのある人もない人も島の人も都会の人も、「自分が自分らしくいられる」冒険の森。

15:45～17:40

分科会 1

共同して生活手段をつくる集落

▶▶ 「話し合い」が生み出す地域の底力

過疎集落にはさまざまな生活課題があります。地域ぐるみの生活課題の改善のために、どのような「場」が必要なのか?? 議論します。

● パネラー

下矢部西部地区社会福祉協議会(熊本県山都町) 会長 津川 則光
うみがみ元気村組合(兵庫県新温泉町) 顧問 尾崎 美津人
山田地区外出のしづらさを地域で考える協議会(兵庫県淡路市) 会長 西谷 好民、委員 池本 道治

● サポーター

総務省 自治行政局 地域自立応援課 課長補佐 櫻井 泰典

● コーディネーター

神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 教授 藤井 博志

■ 下矢部西部地区社会福祉協議会



3町村の合併と同時に自治振興区が設置され、10の部会が誕生。地区社協は福祉部に属し自治振興に取り組んでいる。
他地区間交流、いど〜ばた(移動端)会議を通じた見守り活動、シルバーヘルパー、廃校を利用した災害時の宿泊体験、特産品の開発・加工、小規模多機能ホーム「絆」の運営を行う。

■ うみがみ元気村組合



住民が毎年1,000円ずつ出資し、特産品の加工・販売の拠点でもある「うみがみ元気村食堂」を運営。また、24時間365日利用できる地域住民の拠点「いこいの部屋」を設置している。

■ 山田地区外出のしづらさを地域で考える協議会



住民の話し合いから生まれた市町村運営有償運送、住民が主体となって協議を行ったことで、さまざまな課題に対して住民が一丸となって考える素地が生まれた。

分科会 2

自然環境を基盤にした集落づくり

▶▶▶ 集落を活かす!!「お互いさま」の支え合い

代々受け継がれてきた集落への愛着を、現代の智恵と方法で活性化させる手法とは?? 環境(産業)と見守り・支え合いの視点で語ります。

●パネラー

川根振興協議会(広島市安芸高田市)

会長 辻駒 健二

NPO法人こやだいら(徳島県美馬市)

理事長 阿部 義則

五斗長(ごっさ)まちづくり協議会(兵庫県淡路市) 事務局 高田 一民

●サポーター

消費者庁

次長 山崎 史郎

●コーディネーター

兵庫県社会福祉協議会 地域福祉部 部長 馬場 正一

■川根振興協議会



地域全戸が加入。廃校跡地を活用した交流拠点「エコミュージアム川根」では、レストランや宿泊施設、学童保育などを運営するほか、商店「万屋(移動販売を含む)」、ガソリンスタンド「油屋」、過疎地有償運送、サテライト型デイサービスの運営支援などに取り組む。

■NPO法人こやだいら



NPO法人で高齢者の孤立防止、過疎地有償運送、農林業支援を住民の支え合いで実施。

■五斗長(ごっさ)まちづくり協議会



垣内遺跡の発掘や園場整備をきっかけに、都市間交流やまちづくりの取り組みが行われている。

分科会 3

「集落」と「誇り」をまもる

▶▶▶ “いつまでも暮らし続ける” 集落の誇りとおもい

過疎化が集落にもたらす影響は深刻です。文化や伝統はいうまでもなく、誇りまでもが失われることも。集落に関わる人たちの“おもい”を語っていただきます。

●パネラー

自然流工房「奥庵」(沖縄県国頭村)

代表 糸満 盛也

皆瀬地区 若畑 里づくり協議会(秋田県湯沢市)

会長 佐藤 栄一

畑田集落(兵庫県洲本市)

岡澤 睦子 ほか 島根大学 教育学部

准教授 作野 広和

●サポーター

農林水産省 食料産業局 食品小売サービス課
外食産業室 室長 山口 靖

●コーディネーター

■自然流工房「奥庵」



沖縄北部の集落にある共同売店の始祖、かつての集落の生活課題を住民主体で解決してきた。農作物の栽培・加工、環境保全活動を通じて地域づくりを行っている。

■皆瀬地区 若畑 里づくり協議会



湯沢市皆瀬地区にある若畑集落は、周囲を山里に囲まれた農村集落。小規模だが、住民の結束力が自慢。若畑内の交流だけでなく、外部との交流を原動力に村づくりに取り組んでいる。

■畑田集落



急激な人口減少のある集落。月1回のミニサービスには市内に住む出身者も参加。また、地元を離れた人が帰省時に談笑できる場もつづけている。集会所を拠点に、多様な人たちがつながる工夫がなされている。



分科会 4

誰もが元気な集落づくりの秘密

▶▶▶ みんないきいき!! 私たちの集落

「役割」は私たちの生活にハリを与えてくれます。お互いの存在を認めながらくらし合うために必要な「地域力」について考え合ってみませんか。

● パネラー

農村交流施設「森の巣箱」運営委員会(高知県津野町) 会長 大崎 登
生活支援サポーター絆(滋賀県東近江市) 代表 川嶋 富夫
下田町内会(兵庫県淡路市) 会長 井筒 良夫
老人クラブ第4クラブ長 畠田 久夫

● サポーター

全国コミュニティライフサポートセンター
理事長 池田 昌弘

● コーディネーター

佛教大学 福祉教育開発センター 講師 後藤 至功

■ 農村交流施設「森の巣箱」運営委員会



廃校になった小学校を活用し農村交流施設を住民が運営。都市間交流を実施、集落コンビニ、居酒屋(食堂)、宿泊施設を運営、地域の集会所を活用した高齢者によるし唐の選果作業を通じて介護予防的な機能を果たす。防災マップを作成し、隣近所の見守りの仕組みをつくっている。

■ 生活支援サポーター絆



滋賀県東近江市にある永源寺地区は、人口約6000人の山間地区である。同地区では、「助けてと言える地域づくりをすすめよう」「専門職も入れない隙間は住民の力で埋めよう」と、住民同士のちょっとした助け合いを進める生活支援サポーター絆を発足させ、活発な活動を展開している。

■ 下田町内会



地区の町内会館を拠点にサロンや、100歳体操を通じて見守り活動が行われている。災害時には、町内会館を避難所とすることが住民間で申し合わされており、避難所開設の目印なども申し合わせができています。また、町内会の各種団体ともうまく連携できている。

分科会 5

集落ぐるみの見守り、たすけあい

▶▶▶ 他人事(ひとごと)じゃない!! みんなのまちをみんなで守る!!

自然災害や孤立死の問題は、私たちの身近な地域でも起こりうる課題です。「一人の不幸も見逃さない!!」まちづくりのために必要な取り組みとは。

● パネラー

安曇川町 藤江区(滋賀県高島市) 福祉推進委員 拝藤 あい子
大芋(おくも)活性化委員会(兵庫県篠山市) 事務局長 江坂 道雄
福良地区連合自治会(兵庫県南あわじ市) 会長 原 孝

● サポーター

厚生労働省 社会・援護局 総務課
課長補佐 佐藤 博

● コーディネーター

県立広島大学 保健福祉学部 講師 手島 洋

■ 安曇川町 藤江区



集落を単位として月に1回のワンコインカフェの運営や、高齢者サロン・メンズサロン活動、見守り活動、生活支援を地域ぐるみで行っている。

■ 大芋(おくも)活性化委員会



11の集落からなる大芋地区では、地域福祉プランをもとに、地域住民が主体となった高齢者の見守り、地域サロン、移動サービス、防犯・防災に向けた取り組みなど、多様な活動を展開している。

■ 福良地区連合自治会



津波に備え自治会が主体的に自主防災活動を行っている。夜間・早朝の避難訓練をはじめ、路地裏探訪や防災フェスティバルを行うことで災害への備えを訴えている。

▶ 9:00～9:30 受付

受付

▶ 9:30～12:20 徹底討論会

「集落福祉」をとおことん語る

～誰もが住み慣れた場でその人らしく暮らせる地域社会の仕組みとは～

※各20～30人
現地視察1～4コース

第1部 表面化する生活課題の対応策 9:30～10:50

●パネラー

川根振興協議会(広島市安芸高田市)	会長	辻駒	健二
NPO法人こやだいら(徳島県美馬市)	理事長	阿部	義則
農村交流施設「森の巣箱」運営委員会(高知県津野町)	会長	大崎	登
自然流工房「奥庵」(沖縄県国頭村)	代表	糸満	盛也
下矢部西部地区社会福祉協議会(熊本県山都町)	会長	津川	則光
山田地区外出のしづらさを地域で考える協議会(兵庫県淡路市)	委員	池本	道治

●サポーター

総務省 自治行政局 地域自立応援課	課長補佐	櫻井	泰典
厚生労働省 社会・援護局 総務課	課長補佐	佐藤	博
農林水産省 食料産業局 食品小売サービス課 外食産業室	室長	山口	靖

●コーディネーター

神戸学院大学 総合リハビリテーション学部	教授	藤井	博志
----------------------	----	----	----

▶ 10:50～11:05 休憩

第2部 深刻化する福祉課題の対応策 11:05～12:20

●パネラー

にしはらたんぽぽハウス(熊本県西原村)	施設長	上村	加代子
湯沢市社会福祉協議会(秋田県)	会長	菅	義雄
鳥取県福祉保健部 長寿社会課 地域支え愛推進室	室長	金涌	文男
兵庫県健康福祉部 社会福祉局	局長	柏	由紀夫
淡路市役所	(調整中)		
淡路市社会福祉協議会	北淡支部長	風	保憲

●サポーター

総務省 自治行政局 地域自立応援課	課長補佐	櫻井	泰典
厚生労働省 社会・援護局 総務課	課長補佐	佐藤	博
農林水産省 食料産業局 食品小売サービス課 外食産業室	室長	山口	靖

●コーディネーター

佛教大学 社会福祉学部	教授	岡崎	祐司
-------------	----	----	----

■にしはらたんぽぽハウス



農作物を生かした数々の商品開発と販路開発に取り組んでいる。また、ホームレスやDV、刑余者など、さまざまな理由で職に就くことが難しい人たちの農作業とおした生活支援にも取り組んでいる。

▶ 12:20～12:30 閉会

閉会



現地視察コース

1 長沢地区(淡路市長沢)

- コミバス運行(運行コースの見学)
- 見守り、支えあいの実践事例
- 都市間交流

標高200mを越える約100世帯の集落で、淡路島内では高地に位置する長沢地区。住民が出資する形で、地域の高齢者や子どもの生活課題を解決するコミュニティバスの運行を行っている。また、地域ぐるみの見守りや他地域との交流を積極的に行うなど、集落に人を呼び込む工夫を行っている。

2 垣内遺跡(淡路市五斗長)～北淡震災記念公園(実費負担700円程度)

- 垣内(かいと)遺跡の見学・概要説明
- 五斗長(ごっさ)まちづくり協議会の実践
- 北淡震災記念公園の見学

垣内遺跡：圃場整備事業の実施をきっかけに2001年に発見された、国内最大規模の鉄器製造群落遺跡。以降、地元の五斗長まちづくり協議会や営農組織とリンクしながら多様な活動を行っている。
北淡震災記念公園：1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災を引き起こした野島断層を見学できるほか、震度7の地震体験や、語り部による当時の話が聞ける。

3 そばカフェ生田村(淡路市生田畑)(実費負担1,500円程度)

- 設立の経緯
- 生田そば試食
- 周辺散策

2011年4月、休園になった保育所を改修してそばカフェ生田村はオープンした。地域ぐるみで栽培するそばを製粉したそば粉をブレンドしたそばが食べられるほか、生田村水車公園周辺の散策を通じ、地域住民のつながりや都市間交流のあり方について学ぶ機会。

4 中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンター(洲本市中川原町)

- 設立の経緯
- 施設見学
- 活動に参加(可能であれば)

地元自治会と特別養護老人ホームとが協働で設立した地域生活支援組織。閉校になった中学校を活用し、地元住民であれば自由に利用できる交流拠点(ふれあい広場桜ヶ丘)と、日常の困りごとをお互いに助け合う、生活支援システム(おたがいさま中川原)を主な活動として実施している。

お振込は右記の用紙にて最寄りの郵便局よりお願いいたします。

払込取扱票															振替払込請求書兼受領証											
00		口座記号番号													金額		口座記号番号									
02230		1136578													※		022301136578									
加入者名	CLC 町内・集落														CLC 東日本											
通信欄	※														※											
依頼人	※														※											
裏面の注意事項をお読みください															この受領証は、大切に保管してください。											



- 開催日時 2014年2月15日(土) 12:00 ~ 17:40
2014年2月16日(日) 9:30 ~ 12:30
- 会場 しづかホール(全体会、分科会)、関西総合リハビリテーション専門学校(分科会、交流会)
〒656-2132 兵庫県淡路市志筑新島 5-4 〒656-2132 兵庫県淡路市志筑新島 7-4
- 定員 800人
- 参加費 1日目 3,500円(資料代含)
2日目 2,000円(2日目のみ参加の場合、別途資料代1,000円がかかります)
交流会 3,500円
- 参加締切 2014年1月24日(金)

■お問い合わせ先

第2回「町内・集落福祉全国サミットin淡路」実行委員会 事務局：全国コミュニティライフサポートセンター(担当：小野寺・田村・若井)
〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル1F TEL:022-727-8730 FAX:022-727-8737 E-mail:clc@clc-japan.com

<http://www.clc-japan.com>

〈ご注意〉

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。